

BIE総会における松井大阪府知事スピーチ

2017年6月14日

大阪府知事の松井でございます。

大阪は、1970年、6千万人が来場した「大阪万博」から半世紀を経て、再び万博の開催を目指しています。

私は、今ご覧頂いた、魅力が凝縮された大阪・関西で生まれ育ちました。大阪・関西では、古くより、「売り手」、「買い手」、「世間」の3者が将来にわたり満足する形、“三方良し”で物事を進める「和」の精神が重んじられてきました。多様な価値観やエネルギーが満ち溢れ、革新的なアイデアを提案する進取の気性と次の時代を見通すクールなマインドに支えられ、街は発展しました。

関西には、金閣寺、東大寺、高野山など、世界に誇る歴史的建造物や世界遺産が多く存在します。代表的な観光都市である「京都」「奈良」、「神戸」は、大阪に近接し、30分程度でアクセスが可能です。また、「和食」や「着物」、「季節を体感できる伝統的なお祭り」などの文化も多く育まれてきました。

この地に根づいたチャレンジ精神は、アジアでのノーベル賞受賞者を数多く輩出してきた“源泉”でもあります。世界最先端のライフサイエンスの研究拠点や、「作れないものはない」と言われる高い生産技術を有する製造業、食やスポーツ関連産業の集積など、健康で豊かに生きるための様々な要素が、大阪・関西には備わっています。ここで生まれる新たな技術やサービスが、世界の国々に提案、提供できれば、持続可能な社会の構築にも貢献が可能です。

大阪万博は、人類が抱える未来社会の課題に解決策を示し、いのち輝く未来社会をデザインできる万博と確信します。

もちろん、来場者の方々には、生涯を心身ともに健康で過ごすための愉

しみを最新のテクノロジーによって体験していただきたいと思います。
内外に向けた至便な交通インフラ, 世界トップクラスの治安, おもてなし
の心をもって, 私たちは世界の皆様をお迎えいたします。